

ATS-PT導入による 運転士への負担・不安の軽減を 運輸局に要請

2011年6月1日、JR東海労静岡地本と名古屋地本は中部運輸局へ『ATS-PTの問題点改善』と『JR東海会社への指導』を求め要請行動を行いました。

ATS-PTによるシステムの不備、地上子などの不足、準備時間の不足、複雑さ、不安、負担に対して、会社は「決められたことをやれば間違いない」「保安度は向上した」「非常ブレーキで止め、原因を調査し問題があれば教育を行う」などと何ら改善しようとはしません。要請の2日前に東海鉄事と行った業務委員会でも組合の13項目の申し入れに対し、会社は全て否定した回答しか行いませんでした。

運輸局要請では、「運転士に不安を与える負担装置。扱う運転士の気持ちを一切考えていない」「保安度は高めているかもしれないが、扱うには場所、条件等により複雑になっている。複雑さが理由となり別のミスにつながる。保安装置を最大限生かすことは迷うことなく単純に扱うことが大切」と訴えました。これに対し運輸局は「今日の話をしっかりJR東海に伝える」と回答しました。私たちはこれからも問題点改善に向けて取り組んでいきます。

なお、具体的な要請項目は名古屋地本ホームページや申11号、業務ニュースNo204に掲載しています。

